

学校評価

地域・保護者の皆様へ自己評価結果の報告

はじめに

12月に実施した「よりよい学校教育のためのアンケート」に多数のご回答をいただきました。保護者の皆様のご協力ありがとうございました。

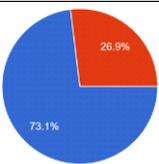
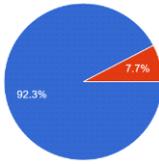
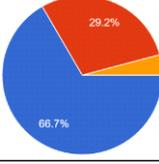
同時に実施した児童と教職員を対象としたアンケートとあわせて結果を集計し、新年度に向けて改善策を検討しました。集計結果と新年度の方角、アンケート記述に対する回答をお知らせします。

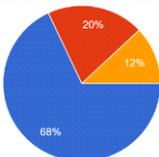
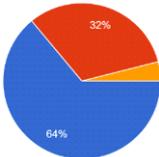
◆ 集計結果の表示

- ◆各項目について、教職員・保護者・低学年・高学年を並列し、円グラフで表示しています。
- ◆肯定的な評価の高い項目（おおむね●よくあてはまるが75%以上、または否定的な評価が0%）にはグラフの右に**水色■**を表示。
- ◆改善の必要がある項目（おおむね●よくあてはまるが50%未満）にはグラフの右に**桃色■**を表示。
- ◆右端に前期との比較を記載しています。改善傾向には**水色の文字**、後退傾向には**赤色の文字**で表示。

- よくあてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない
- わからない

1 全職員が協働する学校づくり

		教職員	保護者	低学年	高学年	前期との比較
1	学校の教育目標・重点目標達成に向けた運営 学校は、教育目標・重点目標の達成に向けて、校務分掌や特別委員会などの組織を活用し、教職員が協働しながら運営している。					教職員減
2	服務規律の徹底と不祥事防止 学校は、規律委員会などによる啓発活動をとおして、コンプライアンスの確立と不祥事の防止に取り組んでいる。					
3	特別支援教育 学校は、個別の指導計画に基づいて、交流学級との連携を図りながら、全校体制で特別支援教育を推進している。					

4	不登校児童への支援	学校は、不登校児童等に対し積極的にアプローチし、適切な支援を行っている。					教職員減
5	働き方改革	学校は、重点目標達成に向けた取組に重点を置き、業務の改善を図り、教育活動に専念できる環境づくりを推進している。					教職員微減

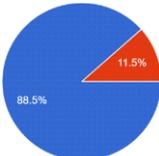
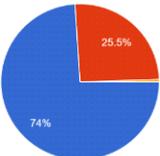
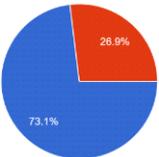
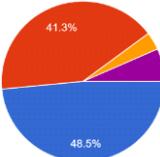
【□新年度の方針・◇アンケート記述に対する回答】

□ 全国的に不登校に関する課題が認識されている中で、本校においても、すべての子どもたちがより良い環境で学べるように取り組んでいきます。

□ 学校の教育目標「夢を描き 未来を拓く子ども」・重点目標「自ら学び他者と協働する子どもの育成」達成に向けた運営に関して、子どもたちの実態をしっかりと把握し、必要なことを精査し確実に進めていきます。



II 家庭・地域に信頼される学校づくり

		教職員	保護者	低学年	高学年	前期との比較	
6	保護者・地域への情報発信	学校は、保護者・地域に開かれた学校として、参観日、各種通信、ホームページなどで積極的な情報発信に努めている。					保護者増
7	P T A 活動	学校と保護者は、P T A 活動を精選しながら、児童の健全育成や教育環境の整備、会員の交流などに取り組んでいる。					

8	地域連携	学校は、「近文あい運動」、学校行事、学校評価、コミュニティスクールなどをとおして、地域との連携を図っている。					保護者増
9	幼保中との連携	学校は、学校力向上の総合実践事業、小中連携一貫教育や幼保小連携事業などをとおして、近隣の幼保小中との連携を図っている。					教職員微増

【□新年度の方針・◇アンケート記述に対する回答】

- どの項目においても改善傾向が見られ、学校の教育活動が家庭や地域に十分浸透していると捉えることができます。今後も、引き続き家庭や地域に信頼される学校づくりを目指します。
- 今年度から、保護者を対象とした個人懇談を年間2回設定しました。子どもたちの学習や生活の様子など、前期の実践を踏まえた懇談に大きなメリットを感じました。次年度も続けていきます。
- ◇ P T A 学年部役員選出に関わる学級間の偏りについてご意見をいただきました。役員のみ手不足を踏まえ、選出の負担を軽くする配慮としてご理解をお願いします。
- ◇ P T A 学年部役員の選出で立候補がない場合の抽選について、対象を未経験者とする対象が多く不平等になるので、兄弟姉妹を含めた未経験者を対象にするとよいとのご意見をいただきました。P T A 活動については、保護者および教員の負担軽減を前提に進めています。貴重なご意見を参考にしつつ、昨今の情勢も踏まえながらより良い方法を検討してまいります。
- ◇ 本部役員の任期への配慮についてご意見をいただきました。保護者、および教員の負担軽減を目的に、専門部の廃止や事業のスリム化、役員の決定に向けた弾力化を図ってきました。今後も、P T A 活動の在り方や、本部役員の選考について、時代の流れを把握・周知しながら検討していきます。
- ◇ P T A 校内ガラス拭きの業者依頼についてご意見をいただきました。費用の面で負担が大きく、現時点では実施が難しいと考えております。今後でもできる範囲でP T A としてご協力をいただけたらと思います。

III 安全でぬくもりのある学校づくり

		教職員	保護者	低学年	高学年	前期との比較	
10	「いじめ」の未然防止～早期発見・早期対応～	学校は、思いやりのある友達関係を築き、適切ないじめの対応をしながら、安心して学べる学年・学級集団をつくっている。					教職員微減 保護者増

11	自律する力を 育む学級経営	学校は、考えて行動する場面や互いに認め合う場面をつくり、自分のよさを気付かせ、児童の自律する力を育てている。					保護者増 児童否定的 回答減
12	規範意識の育 成	学校は、児童が学校の決まりや約束を守って生活する指導や、 忘れ物を減らす指導をおし て、規範意識を育てている。					児童減
13	安全教育・安 全管理	学校は、校外外の安全指導をと おして、 子ども自ら危険を予測 し、危機に対応する力が育っ ている。					教職員減 保護者微増
14	保健指導・環 境美化	学校は、保健指導や生活習慣の 指導をおして健康的な生活を する力を育てている。また、清 掃指導をおして清潔な環境づ くりをしている。					保護者増

【□新年度の方針・◇アンケート記述に対する回答】

- ◇ **感染症対策の徹底、およびエアコンへの対策について**ご意見をいただきました。日頃の感染症対策の取組に対するご理解とご協力に感謝いたします。学級・学年閉鎖が相次いだ11月末に実施した全校朝会は、各教室をタブレット端末でつなぐリモートで実施しました。今後も状況に応じて、適切な対応を心がけてまいります。また、エアコン使用時の対策として羽織などを置いておきたいとのご意見をいただきました。必要に応じて対応できます。時期が来ましたらご相談ください。
- ◇ **安心できる学級づくりについて**ご意見をいただきました。子どもたちはもとより、保護者の皆様にとっても大きな関心事であると捉えています。学校として、全教職員が一丸となって見守り、指導する体制を整えます。どうぞ、保護者の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。
- ◇ **いじめ認知に関する対応について**ご意見をいただきました。いじめは法律で「相手が心身の苦痛を感じる行為」とされ、意図や行為の軽重に関係なく、苦痛を感じたかで判断します。そのため、日常のトラブルでも子どもが苦痛を訴えた場合や、アンケートで「いじめがある」と回答があった場合は、いじめとして認知し支援を行います。学校では複数の教員で情報を共有し、指導した事案は保護者と相談しながら3か月程度重点的に見守ります。今後もお気づきの点があればお知らせください。
- **規範意識の育成**に関して、子どもたちにも決まりを守ろうという気持ちが芽生えています。今後も近文っ子として「感じて動く 考えて動く」を合い言葉に、相手意識をもった言動ができるよう努めていきます。

IV 個性を生かし生きる力を育む学校づくり

		教職員	保護者	低学年	高学年	前期との比較	
15	教育課程の編成・実施・改善・充実	学校は、教育課程において、新しい時代に求められる資質・能力の育成を踏まえて編成・実施し、計画的に改善・充実に努めている。					
16	基礎的・基本的学力の確実な定着	学校は、一人一人に応じた指導やつまづきへの支援をとおして、基礎的・基本的な学習内容の定着に努めている。					教職員減 保護者増 児童微増
17	よりよい人間関係づくり	学校は、よりよい人間関係づくりのために、挨拶や返事、言葉遣いなどの指導をとおして、コミュニケーション能力の育成に努めている。					教職員減 保護者増
18	協力して課題を解決する力	学校は、意見を交流する場面を意図的に設定し、対話的な学びの中で友達と協力して解決する力の育成に努めている。					保護者増 児童減
19	望ましい習慣づくり	学校は、学習規律「がんばる5」の定着や自主学習の指導をとおして、自ら学ぶ姿勢の向上に努めている。					保護者増 児童減
20	教職員の資質・能力向上の取組	学校は、教職員の資質・能力の向上を図るための研修や教員の持ち味を生かす体制づくりを進めている。					
21	分析・重点化	学校は、諸調査の結果から課題を分析し、学力向上や体力向上の方策を検討し、教職員全員で共通理解を図っている。					教職員微増
22	専科指導・少人数指導	学校は、理科・外国語・家庭科専科、算数の少人数指導を効果的に活用し、学習意欲の向上や学習内容の定着を図っている。					
23	読書指導の充実	学校は、朝・昼の読書、読み聞かせ、学校図書館の計画的な利用、国語の読書指導などをとおして、読書活動の充実に努めている。					保護者よくあてはまる増 児童否定的回答微増
24	ICTの効果的な活用	学校は、これまでの実践と一人一台端末を効果的に組み合わせ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図っている。					保護者増 児童減

25	道徳教育の充実	学校は、道徳の時間を要として、各教科、特別活動、諸教育との関連を図りながら、児童の道徳性を育てている。					教職員減 保護者微増
26	キャリア教育などの諸教育	学校は、学校行事や総合的な学習の時間、学級活動などとおして、 夢 や目標に向かって努力する姿勢を育てている。					保護者増
27	体力づくり	学校は、体育の授業やマラソン、縄跳びなどの計画的な取組をとおして、体力や運動能力の向上に努めている。					保護者微増 児童否定的回答微増
28	給食指導・食育指導	学校は、日常の給食指導や食に関する指導をとおして、食事や食べ物を大切にすることを育てている。					教職員減 保護者よくあてはまる減 低学年微減 高学年増

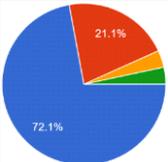
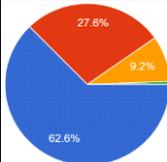
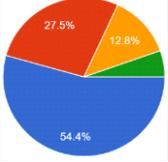
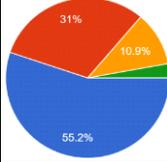
【□新年度の方針・◇アンケート記述に対する回答】

- ◇ **置き勉の取組**についてご意見をいただきました。自主学習を進めるにあたって、教科書や資料が必要なことは、ごもっともと思います。一方、昨今の教科書類はページ数が増加し、タブレット端末も追加されていることで、重量も増している現状です。自主学習と授業の一体化を図るうえで、必要な教科書や資料等は、自ら判断し持ち帰るなどの取組を進めています。自ら判断できるよう、発達段階に応じて工夫しながら指導に努めてまいります。
- ◇ **ICT端末の活用**についてご意見をいただきました。ICT端末が導入されてから、端末を活用した授業と家庭学習の一体化を進めているところです。ICT端末で漢字の学習を進めると正誤判定が容易で、学習への意欲も高まります。一方、従来のプリント学習等は鉛筆で書くという動作が加わるため、しっかりと記憶に残ります。学校では、それぞれの良さをバランスよく取り入れて、デジタルとアナログの最適な組み合わせを模索しており、最終的には、子どもたちが自分にとってどのような学習の進め方が適しているのかを判断して、自ら選択して学習する子どもの育成を目指しています。現状をしっかりと受け止め、バランスを考慮した取組に尽力いたします。
- ◇ **ICT端末を授業で活用すること**についてご意見をいただきました。課題解決に向けた情報収集や協働するためのツールなど、今、求められている「主体的、対話的で深い学びの実現」に向けて、ICTの活用は不可欠です。その一方、「視力低下や運動不足などの健康面」や「勉強したつもりで身に付いていない」などのデメリットもあります。新しい時代に必要な資質・能力の育成に向けて、いただいたご意見も参考にしながら、今後も、デジタルと今までの実践との最適な組み合わせを模索していきます。

- ◇ **マラソン記録会における距離の設定について**ご指摘がありました。本校の記録会は、1・2年生：グラウンド2周=500m、3・4年生：グラウンド3周=750m、5・6年生：グラウンド4周=1000mが目安の距離となっています。以前の学校では、もっと長い距離を頑張り抜くことが求められていたように思いますが、今は、安全に配慮し、無理なく継続できる距離設定が推奨されています。また、本校では、記録会に向けた年2回のマラソン週間の他、縄跳び週間も設定しています。貴重なご意見を参考にしながら、今後も無理なく継続できる体づくりを目指して、改善を図ってまいります。
- ◇ **給食の残食について**「昔あった、余った給食を工夫して食べ切る取組は、今は衛生面などの理由で難しいが、食品ロスについて、食育の中で“もったいない精神”を伝えてほしい」というご意見をいただきました。食べ物への感謝や食品ロスについて考える食育は、とても大切だと考えております。今後も、無理なく子どもたちが自然と学べる取組を続けてまいります。
- ◇ **A L T 来校時の授業について**、日常会話やヒアリングなど、普段のふれあいがあればとの要望がありました。A L T の来校は、年数回しかない貴重な機会になります。最大限の効果を生むためにも、ご意見を参考に今後の授業に生かしてまいります。
- **学校評価のアンケート項目について**、子どもたちの実態を把握するためのより分かりやすい表現と内容に改め、保護者にとっても回答しやすいように改善を図ります。
- 学校図書館に、今年度から「**こども新聞**」を導入しました。子どもたちの読解力向上にもつながるよう、次年度も活用してまいります。

V 学習習慣・生活習慣

		教職員	保護者	低学年	高学年	前期との比較
29	生活習慣 お子様は、早寝・早起き・朝ご飯の習慣を心がけて生活している。	/				保護者微増 児童否定的回答増
30	メディアの使用 お子様は、家の約束を守って、ゲームやスマートフォンなどを使っている。					保護者否定的回答減
31	がくしゅうじかん お子様は、家で（学年×10+10）分以上学習している。					保護者否定的回答微減 児童減

32	ウェルビーイング	学校に行くのは楽しいですか。					
33	自己肯定感	自分には良いところがあると思いますか。					児童否定的回答減

【□新年度の方針・◇アンケート記述に対する回答】

- ウェルビーイングや自己肯定感の項目において、8～9割を超える児童が肯定的回答をしており、おおむね満足できる結果が得られています。今後は、否定的回答をした1～2割に着目し、**魅力ある学校づくり**を目指していきます。
- **メティアの使用に関して、保護者と児童の結果に乖離**が見られます。学校でもSNSの危険や望ましい利用の仕方について指導していきます。ご家庭においても、ゲームやスマートフォン等を使用する際の**ルール**について、**親子で十分に話し合い**をもつていただけたらと思います。

【◇Ⅰ～Ⅴに分類できないアンケート記述に対する回答】

- ◇ **保護者アンケートの項目**についてご意見をいただきました。アンケート項目については、これまで経年変化を捉えるために最小限の変更や追加にとどめていましたが、次年度は、より分かりやすいアンケート項目となるよう検討していきます。
- ◇ **開校記念日を休日ではなくイベントの日**にしてほしいとのご意見をいただきました。開校記念日は、各自治体の学校管理規則により「休業日」として位置づけられています。また、児童・保護者の皆様にとっても「休日」として定着しています。その位置づけを変更することは、かえって混乱を招く可能性もあり、現状では困難とされます。しかしながら、学校としては、児童が学校生活の中で多様な経験をし、成長できる機会を増やすことは重要であると認識しております。今後も、日常の授業や学校生活、学校行事において、より魅力的で充実したものとなるよう、教職員一同、尽力してまいります。
- ◇ **参観日を含めた学校行事における保護者の私語や送迎時の駐車場利用**について、数年前から一向に改善されていないとのご指摘をいただきました。本校の職員駐車場は駐車台数に限りがあり、参観日や運動会、学芸会などの学校行事においては、自家用車でのご来校をご遠慮いただいております。これから冬季を迎えるにあたり、より一層のマナー意識が必要となります。参観日での私語も含め、子どもたちを主役にした周囲の応援体制が整えられたらと思いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

おわりに

今年度も、教育活動の検証改善サイクルの短期化を図るため、前期（7月）と後期（12月）2回の保護者アンケートを実施しました。2回目となった今回も多く保護者から前向きなご意見を多数お寄せいただきました。皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。

そのすべてに意を尽くしてお応えできないことは心苦しいのですが、今回も複数の保護者からいただいたご質問やご意見、保護者の皆様に一層ご理解いただきたい点を中心に回答をまとめました。

アンケートの記述欄では、本校の教育活動に対する肯定的なご意見やお礼の言葉を数多くいただきました。担任による日常の指導やトラブル対応、学級通信の配信、保健室の対応、…。担任や担当者に対する心温まるお言葉、本当にありがとうございます。これらを日頃の取組の成果と捉えて励みにしながら、そのお言葉に甘えることなく一層の学校改善に努めてまいります。

一方で、私たちの指導の仕方や学校の対応に対するご指摘やご要望もいただきました。それらを貴重なご助言として前向きに受け止め、今後の学校運営や教育計画の作成に反映させていくとともに、教職員一同、気を引き締めて教育活動にあたります。

今後もより多くの保護者の願いを学校改善につなげられるよう努めていきますので、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

